

寄附金の使い道は、寄附者が自ら指定することができます。
特に、南島原っ子の健やかな成長や本市の美しい風土の保全を願って、多くの支援が寄せられました。



寄 附 金 の 使 途	寄 附 金 額
世界遺産登録に関する事業	25,782,000円
自然環境の保全および景観の維持、再生に関する事業	39,242,000円
子供たちの健全育成に関する事業	63,699,500円
高齢者の生きがいづくりに関する事業	16,089,000円
文化・芸術のまちづくりに関する事業	6,635,000円
その他市民協働のまちづくりに関する事業	43,712,000円
合 計	195,159,500円

平成28年度の活用予定

ブックスタート事業



赤ちゃんが初めて手にする絵本をプレゼントします。

こども医療費支援事業



小・中学生の医療費の一部を助成し、子育て世帯の負担を軽減します。

保育所運営・活動支援事業



保育料を減免し、多子世帯の負担を軽減します。

高齢者学級開催事業



講演会やスポーツなど各種講座を開催し、高齢者の生きがいづくりを促進します。

高齢者交通費助成事業



日常生活の移動が困難な高齢者へ、バスやタクシーの利用助成券を配布します。

芸術・文化振興事業



市民へ音楽や演劇など、舞台芸術の鑑賞機会を提供します。

市民の皆さんへお願い

ふるさと納税をすると税の軽減を受けることができ、さらに市外在住者には、お礼のしるしとして市内特産品を贈呈しています。

この返礼によって、市内消費が増大し、経済活性化やPRへ繋がるなど、財政面に限らず市全体へのメリットがあります。

お盆で帰省される家族や親戚、友人などいらっしゃいましたら、ぜひ本市のふるさと納税をご紹介します。



思いをふるさとへ。 思いはふるさとの原動力に。



大好きな島原手延そうめんをもっともっと皆さんに知ってほしい。(東京都)



以前、旅の途上で散策した際に、穏やかな明るい街との印象を受けました。その時の印象が、今回寄附させていただききっかけのひとつになりました。(東京都)



昭和46～48年まで口之津海員学校に在学していました。口之津の皆さまに大変親切にいただき、外国航路船員の夢を実現させていただきました。感謝の気持ちで寄附させていただきます。(兵庫県)

平成27年4月にリニューアルした「南島原市ふるさと応援寄附」。
昨年1年間(H27.4～H28.3)で、
延べ9,339人、1億9,515万9,500円もの
寄附をいただきました。

市では、応援していただいた全国の人たちの思いを形にするため、この寄附金をさまざまな事業に活用しています。

今回は、皆さんの身近なところで役立てられている、ふるさと納税についてご紹介します。

私は行ったことがないのですが、高校生の長男が修学旅行でお世話になり、とても良いまちだったと言っていました。これからは自然豊かな住みよいまちを目指して頑張ってください。(岐阜県)

寄附者からのメッセージ

これまで何かのご縁があった人、ふるさと納税をきっかけに初めて本市とご縁を持った人など、多くの人たちがさまざまな思いを持って応援しています。



縁があるわけでもなく訪れた事もないのですが、寄附を通じて御地を身近に感じています。わずかな金額ですが、何かのお役に立てるのであれば幸いです。(福岡県)

亡き母の出生地です。自然の壮大さと美しさを母はいつも自慢していました。私自身はまだ行ったことがないので、訪れることができる日までその景観を維持してほしいと思います。(愛知県)



南島原市は遠い昔、中学生の頃に友人と鈍行列車の旅で島原鉄道に乗って行った記憶があります。また、SNSで知り合った友人が南島原にいたりしたこともあり、どこことなく縁を感じます。(広島県)

西有家町出身です。なかなか地元に戻る機会がありませんが、遠い京都より懐かしいふるさと南島原を想いながら応援しています。(京都府)